

世界観客動員700万人に迫る
ブロードウェイも凱旋

舞響の太鼓
-Bukyo-
ODORU
WADA
DAIKO

DRUM TAO
THE ART OF DRUM

DRUM TAO 2016
舞響~Bukyo~ 踊る太鼓

開催日 **9月15日(木)**
開場/午後6時 開演/午後6時30分

会場 **ありえコレジヨホール**

世界観客動員数 650 万人、年間公演回数 250 回超え！
DRUM TAO 23年目の2016年新作舞台は、これまでのイメージを一新する「ハチャメチャに楽しい！」がテーマ。
TAO流ダンシング・ドラムあり、プロジェクションマッピングとのコラボあり、そして、ハイテクを駆使したパフォーマンスありと常識を大きく壊す。さらに、想像を超える近未来の衣装デザインに、5年目のコシノジュンコが挑戦する。

◆前売券発売日 7月2日(土) 午前9時～
全席指定/一般…3,500円 高校生以下…2,000円
※チケットの購入はお一人様1回につき4枚まで
※6歳児未満入場不可

◆入場券販売所 **ありえコレジヨホール**
販売時間/午前9時～午後8時
問生涯学習課 ☎050(3381)5082
●主催：南島原市教育委員会 ●後援：南島原市文化協会



島原・天草一揆に関する史料を寄贈

市は5月6日、松尾壽春さん（口之津町）から島原・天草一揆に関する史料の寄贈を受けました。史料は「板倉重昌の書状」と「天草軍記（第1～19巻）」の計11点で、松尾さんが個人で収集されたものです。

市では今後、専門家による内容の解説を進め新たな発見がないか期待を寄せています。また、有馬キリシタン遺産記念館（南有馬町）での展示も予定しています。

Focus in 南島原 まちの話題



世界的に珍しい「白洲」を探検

5月7日、北有馬地区・南有馬地区の子ども会の2地区合同で、「白洲」を探検しました。

白洲は、世界で数か所しか見ることができない大変貴重な場所です。普段は海の中に沈んでおり、本市ではおおよそ3月から8月にかけてのみ、その姿を見ることが出来ます。白洲に上陸すると、子どもたちは嬉しそうに白洲を駆け回りました。

いつまでもお元気で ～100歳おめでとうございます～



糸山 ハヤヲさん(南有馬町)
大正5年5月7日生まれ



水田 キミエさん(深江町)
大正5年5月15日生まれ



今年度第1号の民泊を受入れ

5月17日、今年度農林漁業体験民泊による修学旅行第1号の受入れを行いました。熊本地震の影響で4月から予定されていた受入れが次々とキャンセルされる中、今年度第1号となった横浜市立茅ヶ崎中学校の生徒288名は、帰りの際に別れを惜しむ涙を流す生徒も多く、地震の影響を感じさせない充実した表情が印象的でした。

今回の民泊では、これまでとは少し違った「地震に負けない元気な南島原」を感じさせることができた印象的な受入れとなりました。

こい何か知っちゃう？

南島原の考古学



権現脇から出土した浅鉢



接着剤の跡

「土器のリサイクル」～権現脇遺跡～

遺跡から出土する縄文土器の中には、割れてしまった土器を修理した痕跡をもつものがあります。今回はその痕跡をもとに、縄文人がどうやって土器の修理を行っていたのかを紹介します。

写真の土器は深江町の権現脇遺跡から出土した浅鉢です。黄色で囲んだ部分にいくつか穴があけられているのがわかりますね。これは土器が割れてしまった時の修理に使われる補修孔と呼ばれる穴です。その位置に注目してみると、割れた面をはさんで対になるようにあけられています。これは穴に紐を通して、割れてしまった土器の破片同士を縛りつけ固定させるためだと考えられています。割れた部分と補修孔のふちには赤い塗料のようなものが観察できます。これはベンガラという赤色顔料が混ざ込まれた縄文時代当時の接着剤の跡です。この接着剤を使って破片を貼り合わせていました。このように接着剤と補修孔を組み合わせることによって、再利用に耐える修理を行うことができたのです。現代においてさまざまな場面でうたわれるリサイクルの精神は、はるか縄文時代から、われわれ人類に宿っていたのです。

企画展

6月1日(水)～7月29日(金) ※休館日：毎週火曜日
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
国深江埋蔵文化財・噴火災害資料館
観一般…200円、高校生…150円、中学生以下…無料 *団体割引あり
※企画展は入館料のみでご覧いただけます。
問文化財課 ☎050(3381)5083